



—湾岸・アラビア半島地域ニュース—

イエメン：内閣改造

6月11日、ハーディー大統領は以下の挙国一致内閣改造人事を行った。

任命

副首相兼通信・IT相：アフマド・ウバイド・ブン・ダグル（副首相兼任に変更）

副首相兼電力相：アブドッラー・ムフシン・アクーウ（新入閣）

情報相：ナスル・ターハー・ムスタファー（新入閣）

石油・鉱物資源相：アフマド・アブドゥルカーディル・シャーイウ（新入閣）

財務相：ムハンマド・マンスール・ザマーム（新入閣）

外相：ジャマール・アブドッラー・サラール（新入閣）

退任

アブー・バクル・カルビー外相

アリー・アフマド・ウムラーニー情報相

サーリフ・ハサン・サミーウ電力相

サフル・アフマド・アッバース・ワジーフ財務相

イエメンでは、南部ではイスラーム過激派や分離独立運動との対立・交戦、北部ではフーシ一派との交戦など治安上の懸案が深刻化している。また、経済状況も悪化しており、今般の内閣改造の直前にはサナアで燃料不足・停電に対する大規模な抗議行動・暴動が発生した。内閣改造でも、電力、財務、石油・鉱物資源など悪化する経済情勢に関係する閣僚が多く含まれた。イエメンでは2011年に長年大統領職にあったサーリフ元大統領が退任し、ハーディー大統領と挙国一致内閣の下で「移行過程」が進められているが、今般の内閣改造は人民の生活水準が改善しない中での移行の困難さを改めて印象付けた。

（高岡上席研究員）

©本「かわら版」の許可なき複製、転送、引用はご遠慮ください。

ご質問・お問合せ先 公益財団法人中東調査会 TEL:03-3371-5798、FAX:03-3371-5799